

科目名				授業の種類		授業担当者	
カリキュラム論				講義		安達仁美	
学年	単位	時間数	授業回数	履修時期	選択・必修		
1年	2	30	15	前期	卒業:必修	幼免:必修	保育士:必修
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <ul style="list-style-type: none"> 幼児教育・保育の教育課程についての基礎的事項や幼小接続カリキュラムの在り方について理解するとともに、それが教育や保育の現場でどのように実践されているかを事例を通して学習する。また、幼児をとりまく環境の変化について学び、幼稚園と保育所の成り立ちの違いや保育内容の共通点を理解する。 <p>[授業全体の内容と概要]</p> <ul style="list-style-type: none"> シラバスに示した内容について、適宜グループワークを取り入れながら事例に基づいた講義を行う。 自分スピーチを通して自分の教育観や職業観、生き方について省察しながら教育の意義について考える。 <p>[受講上の注意事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業中に配布される資料をもとに講義が進められるので、資料をきちんと整理・保管すること。 自分の考えを述べる場を設定する。よって、常に自分なりの問題意識を持って授業にのぞんでほしい。 <p>[使用テキスト]</p> <p>特に使用しない。講義中に配布される資料を中心に授業を行う。なお、参考文献については授業中随時紹介する。</p> <p>[評価基準]</p> <p>以下を総合して判断する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 試験(80%) 講義内の活動と提出課題(20%) 							
[授業の日程と各回のテーマ・授業内容]							
回	項目			授業内容			
1	オリエンテーション			講義計画の確認／自己の教育観の振り返り			
2	カリキュラムとは？			人はなぜ学ぶのか？／「カリキュラム」の概念について理解する			
3	幼児の学び			子どもの姿から学びを探求する／アトム共同保育所			
4	経験主義と系統主義①			学習指導要領の歴史的変遷／自分スピーチ①			
5	経験主義と系統主義②			体験を通した子どもの学び／自分スピーチ②			
6	保育所の成り立ち			保育所の歴史的変遷／自分スピーチ③			
7	幼稚園の成り立ち			幼稚園の歴史的変遷／自分スピーチ④			
8	幼児教育の内容と内容構成①			幼稚園教育要領の構造／自分スピーチ⑤			
9	幼児教育の内容と内容構成②			保育所保育指針の構造／自分スピーチ⑥			
10	子どもの発達			子どもの発達と成長			
11	遊びの種類			発達を促す遊びの種類			
12	教材研究の意義			実践記録から学ぶ子どもの姿			
13	幼小接続カリキュラム			スタートカリキュラムとしての生活科			
14	保育研究会			実践記録を通したディスカッション			
15	講義のまとめと確認			確認テストと授業評価			